

令和2年度 第3回浜松市環境審議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年3月9日(火) 午後1時30分から午後2時35分
- 2 開催場所 浜松市鴨江分庁舎2階 会議室
※本会議はWeb会議方式にて開催した。Web会議出席者は「3出席状況」のとおり。
- 3 出席状況

審議会委員

○	荒巻 太枝子	静岡県シェアリングネイチャー協会	
○	小名木 秀夫	浜松市自治会連合会	
Web	田中 浩之	横浜創英大学 こども教育学部	会長
Web	中村 美詠子	浜松医科大学 医学部	
Web	野中 正子	浜松市消費者団体連絡会	
Web	藤井 康幸	静岡文化芸術大学 文化政策学部	
○	藤本 忠藏	浜松医科大学 医学部	副会長
Web	松浦 敏明	静岡県産業廃棄物協会	
Web	水谷 洋一	静岡大学 地域創造教育センター	
Web	渡邊 記余子	浜松商工会議所	

事務局

環境部	影山部長、伊藤参与、藤田環境部次長(環境政策課長)
環境政策課	鈴木課長補佐、朝比奈主幹、辻副主幹、今井主任、内山主任、野末主任
ごみ減量推進課	石岡課長、飯田専門監、鈴木副主幹

- 4 傍聴者 2名(内、報道関係者1名)
- 5 議事内容
- ① 審議事項
- ・浜松市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)2021年版について
- ② 報告事項
- ・ごみ減量推進部会における家庭ごみ有料化に関する審議の進捗状況について
- 6 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 今井主任
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録 有(公開)

1. 開会

2. 挨拶

事務局（藤田次長） 会議開催にあたり、本審議会の公開について委員にお諮りする。
本審議会では、個人情報等の非公開情報を審議する予定がないため、議事を公開する。
異議のない方は挙手をお願いします。

全員 （異議なし）

事務局（藤田次長） 了承をいただいたため、本審議会は公開とする。
事務局は、傍聴者があれば入室をお願いします。

（傍聴者入室）

事務局（藤田次長） 本日の会議録については、事務局で作成し浜松市附属機関の会議録の作成及び公開に
関する要綱に基づき、発言した委員の名前を記載の上公開する。
それでは、審議会の開催に先立ち、影山環境部長から挨拶をお願いします。

影山部長 <<挨拶>>

事務局（藤田次長） <<配布資料確認>>

続いて、本日の会議の成立について、審議会委員 10 名のうち藤本副会長、荒巻委員、
小名木委員の 3 名が会場での出席、他の 7 名が Web での出席をいただいている。委員全
員が出席であり、浜松市環境審議会規定第 4 条第 2 号により、審議会が成立することを
報告する。

これからの議事進行については、浜松市環境審議会規程第 4 条第 1 項により「会長が
会議の議長となる」こととなっているため、田中会長をお願いします。

3. 議事

① 審議事項 浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2021 年版について

田中会長 それでは、審議事項「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2021 年版につ
いて」、事務局から説明をお願いします。

環境政策課 <<資料 1-1、資料 1-2、参考資料に基づき説明>>

水谷委員 浜松市の清掃工場では湖西市のごみも受け入れて焼却していたと思うが、温室効果ガ
スの排出量の算定や計画を立てるときに浜松市分だけを案分して計算しているか。
先日、湖西市の温室効果ガスの排出量算定について調べたら、廃棄物処理施設からの
排出量は 0 となっていた。浜松市に持っていつているからという理由であったが、この
辺りはどうなっているか。

環境政策課 湖西市分は除いて算定している。

水谷委員 事務事業編の清掃工場の運営に関わる場所も湖西市分は除いているのか。施設で使
用する電気使用量についても湖西市分は除いているのか。

環境政策課 廃プラスチック・合成繊維の焼却に伴う排出量については、湖西市分は除いている。
一方、施設の運営に伴うエネルギー使用による排出量については、湖西市分も含めて算
定している。

水谷委員 助燃材や電気使用量も馬鹿にならない量なので、施設に係るものも分けた方が良いと思う。

水谷委員 資料 1-1 の 8 ページの温室効果ガス排出量と増減量の表について、民生・家庭部門や民生・業務部門の増減率を見ると 2016 年度から 2017 年度で 10%程度減っている。これは都道府県別エネルギー消費統計において 2017 年度で統計の取り方が変わっており、その影響が大きいのではないかと思う。そのあたりは計算されているか、考え方を聞きたい。

環境政策課 指摘の通り、昨年 12 月に都道府県別エネルギー消費統計の推計方法が変更となり、その変更による影響が大きく出ている。すでに 2018 年度の速報値が出ており、合計で 4,581.4 千 t-CO2 となる。前年度の排出量 4,667.3 千 t-CO2 と比べても、85.9 千 t-CO2 の減少となる。

水谷委員 同じことが県レベルでも起こっている。統計の取り方によっては、排出量が増えることもあり得るので、調整をした方が良い。調整の仕方については、細かい話なので割愛するが、県などに相談すると良い。

環境政策課 今回の計画見直しは、平成 29 年 4 月に策定した計画を社会情勢の変化や施策の進捗状況を踏まえて見直すものであり、昨年 3 月に 2050 年二酸化炭素排出実質ゼロを表明したことを踏まえ、温暖化対策を強化していくために目標を 26%削減から 30%削減に引き上げた。今回の見直しは浜松市域 RE100 の推進のための目標の引き上げをメインと考えている。

現在、国の方でも地球温暖化対策計画やエネルギー基本計画の改定が予定されており、そちらの目標が大幅に引き上げられるなど大きな変更があった場合は、指摘を踏まえて改めて見直しを検討していきたい。

田中会長 資料 1-1 の 3 ページに SDGs のことが書いてあるが、用語解説の所には説明が無いので、用語解説に詳しい説明を入れてはどうか。

環境政策課 SDGs のそれぞれの目標の説明を入れるということか。

田中会長 SDGs の意味・趣旨を入れてはどうか。

環境政策課 掲載するように修正する。

田中会長 資料 1-1 の 33 ページの適応策の 1(2)降水量の記載について、「静岡県域の 1 時間降水量 50mm 以上の年間発生回数は、年ごとの変動幅が大きく明確な傾向はみられませんが、全国の年間発生回数は増加傾向にあります」と記載がある。浜松市ではそうかもしれないが、危機感を示すためには、前段部分が気になる。

環境政策課 指摘いただいた部分の記載は、資料 1-1 の資料編 62 ページに静岡地方気象台から提供いただいたグラフを掲載しており、この分析によるものである。実際の施策については、36 ページの「浸水被害の増加」などにあるように取り組んでいきたいと考える。

田中会長 資料 1-1 の 24 ページにある次世代自動車の普及促進について、電気自動車用急速充電器の記載があるが、これは浜松市内にどれくらいあるのか。

- 環境政策課 電気自動車用充電器は浜松市内に約 130 箇所設置されている。市の施設は、南区役所、北区役所、天竜区役所、花川運動公園、四ツ池公園、館山寺公共駐車場、フルーツパークに設置されている。
- 田中会長 市民は場所がわかるのか。計画に場所を記載する必要はないか。
- 環境政策課 市の施設に設置しているものについては市のホームページで公開しているほか、その他のものについても「GoGoEV」という民間のホームページに掲載されており、地区ごとに検索できるようになっている。
- 野中委員 市民が一番関心があるのは民生・家庭部門である。例えば、8 ページの表、数値を見た際、一般の市民から「どうしてこれだけ減ったのか？」と質問されたとき、私たちは地球温暖化防止活動推進員という立場で答えることができない。どういう理由で減ってきているのかを教えてほしい。わかりやすくすることも必要だが、ただ数値を載せるだけではなく、どういうことがあって増減したのかというところを、私たちの目でわかるように示してほしい。
- 環境政策課 毎年、計画の進捗状況の報告を行っているので、市民にもわかりやすい内容で示していきたいと考える。
- 田中会長 資料 1-1 の浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について、市民に読んでもらうためにどのような工夫をしているか。また、配布先は決まっているか。
- 環境政策課 実行計画（区域施策編）については市 HP での公開を予定しているほか、概要版を作成して市の施設等での配架により市民への周知を図る。
- 田中会長 計画の発行時期は、令和 3 年 4 月の発行ということで良いか。
- 環境政策課 その通りである。
- 田中会長 P47 の審議会委員の一覧で、「教授」まで書いてあるものと所属までのものとあるので、そろえた方が良いのではないか。
- 中村委員 資料 1-2 について、イラスト入りでメッセージがありとても分かりやすいと感じた。一方で中を見ると内容が難しいと感じた。例えば、「COOL CHOICE」という言葉が出てくるが、このような用語についてはわかりやすい説明が欲しい。
また、3 ページ目右上の縦グラフの左側に注がありそこに BAU という用語があるが、それがどこの説明かがわかりにくい。
4 ページ目下の、「浜松市」の枠内、字が小さく、文字間が詰まっており読みにくい。
- 環境政策課 ご意見を踏まえた修正を行い、この内容で改定に向けた作業を進めさせていただく。

② 報告事項 ごみ減量推進部会における家庭ごみ有料化に関する審議の進捗状況について

- 田中会長 それでは、報告事項「ごみ減量推進部会における家庭ごみ有料化に関する審議の進捗状況について」、ごみ減量推進部会の部会長である藤本副会長より報告をお願いします。
- 藤本副会長 ≪資料 2 に基づき説明≫

水谷委員 私はごみ減量推進部会には参加していないので教えていただきたい。部会では報告だけでなく議論も行っていると思うが、どのような意見や質問が出てきているのか教えていただきたい。

藤本副会長 いろいろな内容を審議した。まとめて説明することは難しいが、現時点で、何一つ決まったというものは無い。

水谷委員 資料にあるような内容について報告があり、それについていろいろな意見交換をしたということで良いか。

藤本副会長 そうである。

野中委員 「家庭ごみの減量と有料化についてのアンケート」結果がごみ減量推進部会の資料として送付されてきた。その中で、有料化に「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせると半数を超えることが気になったが、反対の理由というのは聞いていないのか。

また、食品ロスが叫ばれているが、食品ロスについても人により考え方は異なってくる。私の周りで、食品ロス対策をやらないと言っている人がいた。なぜかと聞いたら、「出されたものは無理やりでも全て食べさせるなんておかしい」と言っていた。それは違うということも説明したが、実際にそう思っている人もいる。一般の人が進んでやりたいと思えるような形をつくる必要がある。そのためにも何をもって反対をしているのか。そのあたりを知る必要がある。

ごみ減量推進課 賛成・反対の設問については「広聴モニターアンケート」という市で実施しているアンケートの中で、ごみの減量と有料化についてアンケートを行ったものである。設問数等にも限りがあり、賛成反対の理由までは確認できていない。反対の理由も重要なことであるので、今後把握できるよう努めていきたい。

食品ロスの削減についても、食品ロス理解を深めて取り組んでいただくよう、別途啓発活動を行っていきたい。

ごみ減量推進部会の中でアンケート調査の結果や個別の施策の一つとして食品ロスに関する取組についても議論を進めていく。このことについては、審議会でも報告させていただく。

田中会長 それでは、すべての議事が終了したので、進行を事務局へお返すする。

5. 閉会

事務局（藤田次長） 最後に、事務局から事務連絡をさせていただく。

事務局 本日の議事について、追加のご意見・ご質問等ある場合は、3月15日（月）までに事務局までご連絡をお願いします。

本日の会議の記録は、後日事務局で作成し皆様にお送りするので、確認をお願いします。

事務局（藤田次長） 本日は、長時間にわたりご審議いただくとともに、貴重なご意見を賜わりお礼申し上げます。以上で本日の環境審議会を終了とする。